

第五次武蔵村山市特別支援教育推進計画 数値目標に対する実績（令和7年度現在）

番号	指 標	令和元年度 現況値 (参考) 【割合】	令和7年度 実績 (B) 【割合】	令和7年度 目標 (A)	令和7年度実績と 目標値との比較 (B) - (A)	(K P I) 進捗状況
1	「就学支援シート」の提出率	15.8%	12.8%	6.5%	6.3%	◎
2	「就学支援シート」をもとに、「学校生活支援シート」を作成している児童の割合	4.1%	97.2%	100%	▲2.8%	○
3	「学校生活支援シート」を作成して、個別の教育支援を行っている児童・生徒数（特別支援学級・通級指導学級・特別支援教室）	98.7%	32.5%	100%	▲67.5%	◎
4	「学校生活支援シート」を作成して、個別の教育支援を行っている児童・生徒数（通常学級）	3.7%	2.1%	6.5%	▲4.4%	×
5	通常の学級に在籍している小・中学生のうち、「個別指導計画」を作成して、個別の指導や支援を行っている児童・生徒数	4.2%	2.0%	6.5%	▲4.5%	○

※ 重要業績評価指標（K P I）の進捗状況

◎：目標値達成

○：令和元年度現況値を上回っている

△：令和元年度現況値から横ばい

×

—：数値が判明していない

☆：適切な就学・通級先へ繋がった結果、目標値を下回ったと予想される。

【学校】

第五次武蔵村山市特別支援教育推進計画 数値目標に対する実績（令和7年度現在）

番号	指 標	令和元年度 現況値 (参考) 【割合】	令和7年度 実績 (B) 【割合】	令和7年度 目標 (A)	令和7年度実績と 目標値との比較 (B) - (A)	(K P I) 進捗状況
1	巡回相談の実施回数（※1）	14回	34回	40回	▲6回	○
2	特別支援教育講演会への参加者数（※1）	111人	82人	120人	▲38人	×
3	副籍制度を活用する児童・生徒の割合（※2） （市内在住及び特別支援学校在籍児童・生徒）	68%	28%	70%	▲42%	×
4	市立小・中学校における自閉症・情緒障害学級の 設置校数（※3）	2校	4校	4校	0校	◎

※ 重要業績評価指標（K P I）の進捗状況

◎：目標値達成

○：令和元年度現況値を上回っている

△：令和元年度現況値から横ばい

×

—：数値が判明していない

※1…第四次計画の目標値を継続。

※2…令和元年度の目標値を継続

（令和元年度副籍制度活用者数39名÷令和元年度市内在住
及び特別支援学校在籍児童・生徒数57名＝68%≒70%）

（令和6年度副籍制度活用者数12名÷令和6年度市内在住
及び特別支援学校在籍児童・生徒数56名≒21%）

※3…目標値内訳

第一小学校・雷塚小学校 自閉症・情緒障害特別支援学級既設 計2校（当初）

村山学園第二中学校 自閉症・情緒障害特別支援学級開設 計3校（令和5年度）

第十小学校 知的障害及び自閉症・情緒障害特別支援学級開設 計4校（令和7年度）

【教育部】